

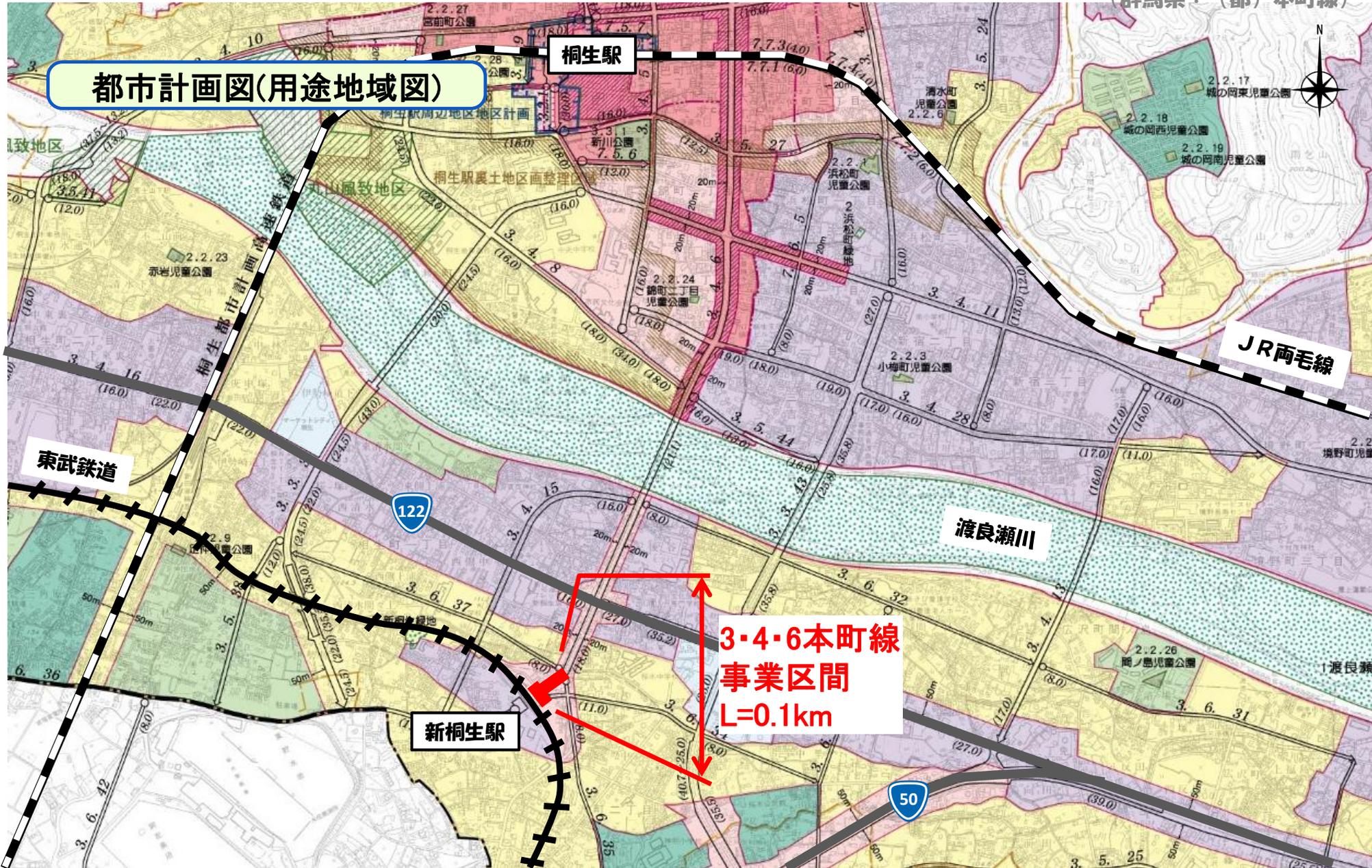
# 事業概要

(群馬県：(都)本町線)

応募No.	7		
事業主体	群馬県	事業箇所	群馬県桐生市広沢町二丁目地内
応募者名	群馬県桐生みどり振興局 桐生土木事務所		
ふりがな 事業名称	きりゆうとしけいかくどうろ 3・4・6ごうほんちょうせん しんきりゆうえきえきまえひろばせいびじぎょう 桐生都市計画道路 3・4・6号本町線 新桐生駅駅前広場整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、新桐生駅と桐生市街地を結ぶ都市計画道路本町線の街路事業であり、起点となる新桐生駅を、交通結節点としての機能強化を図るとともに、市の新たな玄関口として駅前広場整備を実施したものである。</p> <p>整備前の駅前には、自動車と歩行者が混在し危険な状況であったことから、既存の駅前の敷地を拡張し、外周部への歩道整備や区画線による車両の通行部分の明示を行い、自動車・歩行者の動線を明確にし、誰でも安心安全に利用出来る広場整備を行った。</p> <p>歩道部の舗装については、桐生市の主要産業である織物をイメージしたデザインとし、駅前広場には「羅」、アクセス道路には「朱子織」の図柄をモチーフとした。「羅」は、もじり織と呼ばれる薄いレース状の生地のことであり、「朱子織」は、織物の織り方の一種である。</p> <p>照明については、「安心安全なあかり・にぎわいのあるまちあかり・まちなかへと誘導するあかり」をコンセプトにそれぞれの役割に応じた照明を設置した。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.1km	
	幅員(m)	約18.0m	
	事業期間(和暦)	平成28年度～令和3年度	
	事業費(億円)	約5億円	
受賞歴	有・ <b>無</b>		
URL	<a href="https://www.pref.gunma.jp/contents/100198353.pdf">https://www.pref.gunma.jp/contents/100198353.pdf</a>		

# 事業位置図





# 路線全体の進捗状況

都市計画道路3・4・6本町線  
令和3年8月10日供用開始  
延長L = 108.0m、W = 18.0m

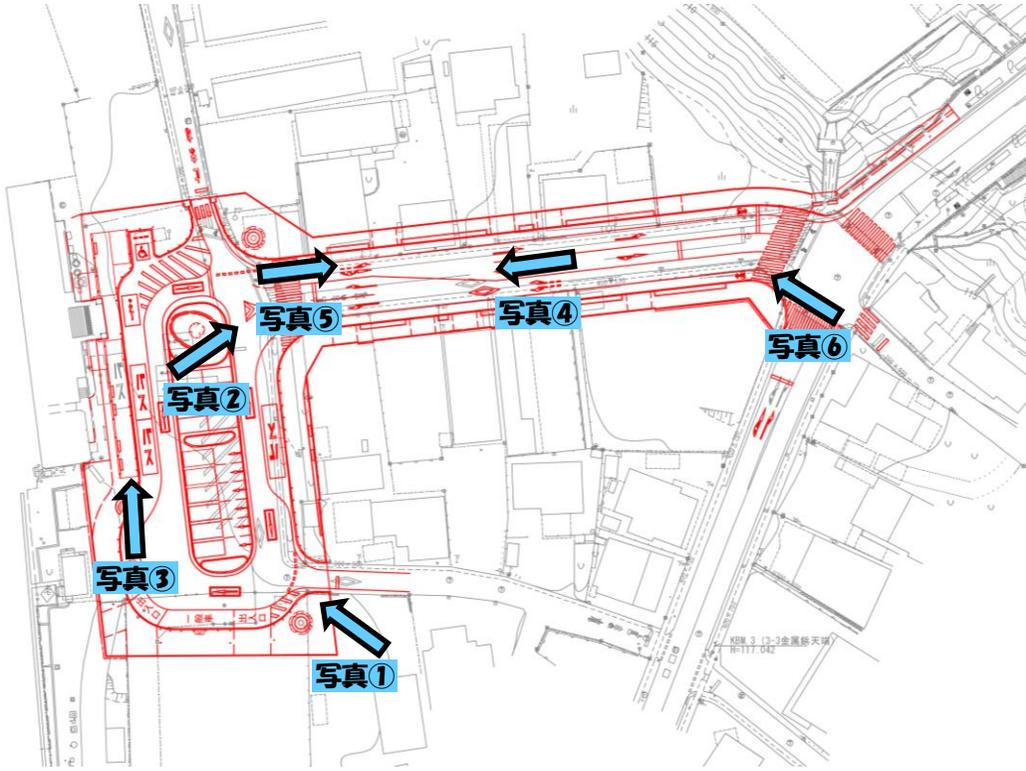
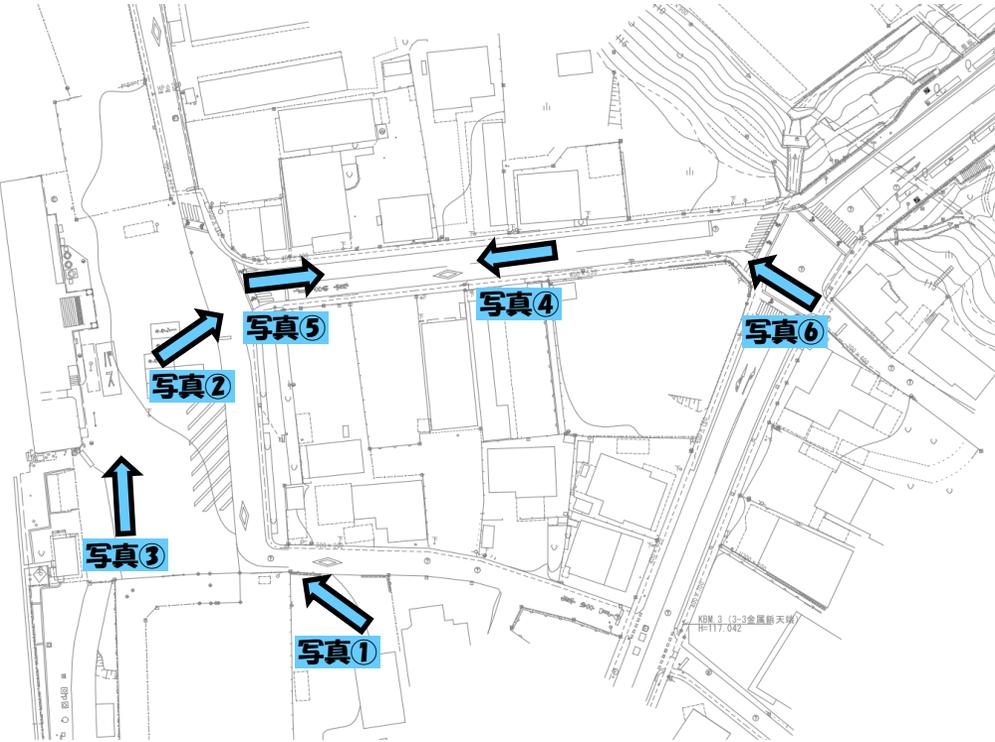
新桐生駅



平面図

事業前

事業後

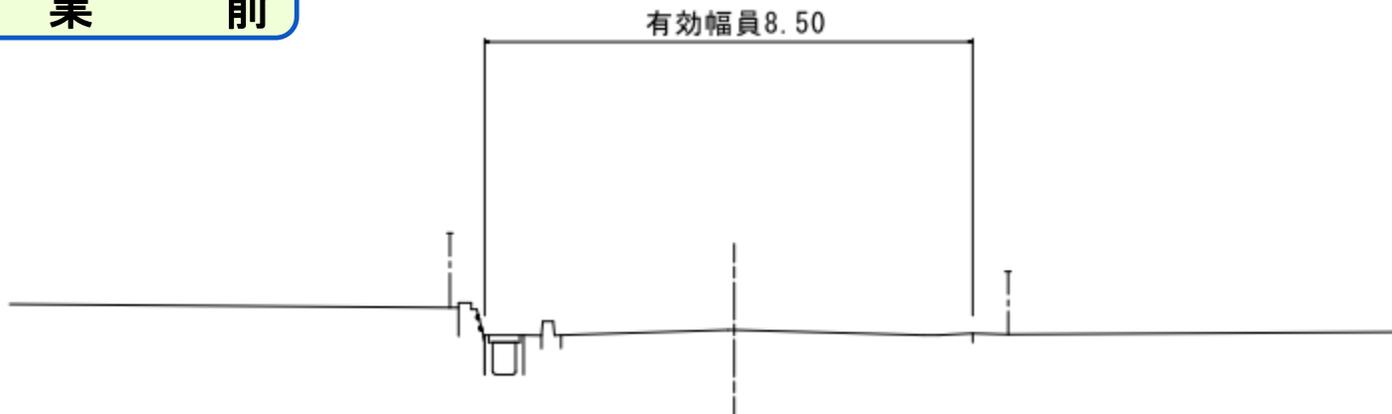


H27年4月撮影

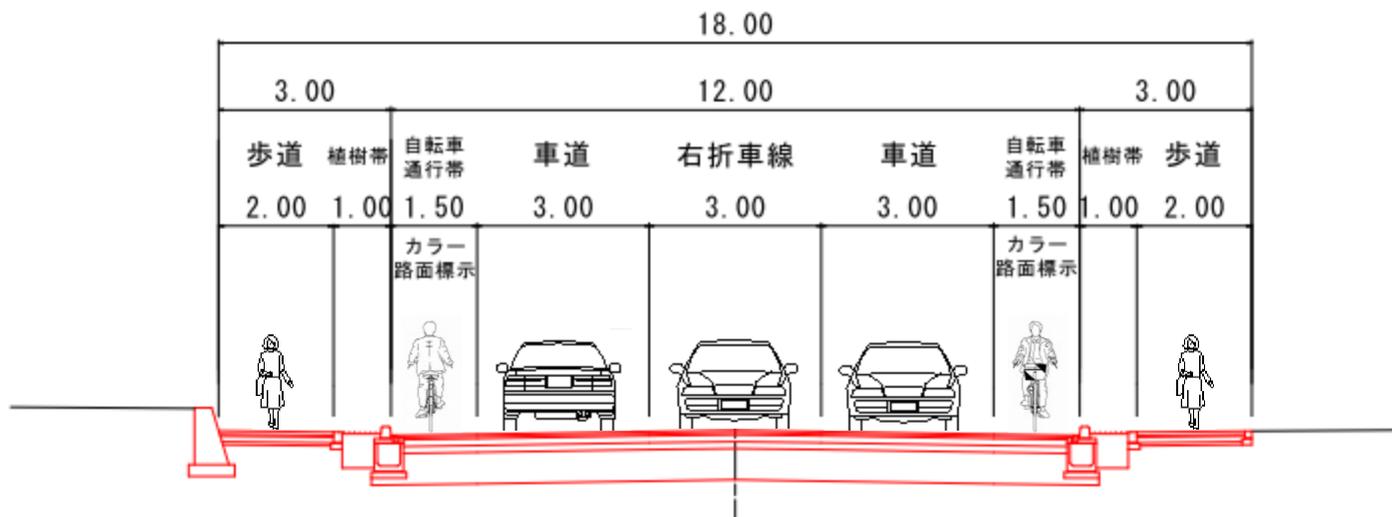
R4年10月撮影

# 横断図

## 事業前



## 事業後



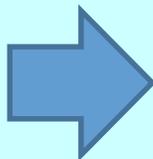
事業前写真

事業後写真

(群馬県：(都)本町線)



写真①



H27年4月撮影



写真①

R4年10月撮影



写真②



H27年4月撮影

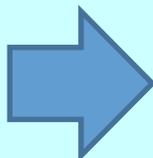


写真②

R4年10月撮影



写真③



H27年4月撮影



写真③

R4年10月撮影

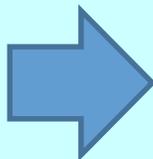
事業前写真

事業後写真

(群馬県：(都)本町線)



写真④



H27年4月撮影

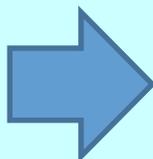


写真④

R4年10月撮影



写真⑤



H27年4月撮影



写真⑤

R4年10月撮影



写真⑥



H27年4月撮影



写真⑥

R4年10月撮影

## 事業効果アピール資料

### 【駅前広場整備】

- 事業前の新桐生駅前には、バスやタクシー乗降場はあるものの、歩道や区画線による通行部分が明確となっていないため、送迎用の車両やバス・タクシー及び歩行者が交錯し危険な状況となっていた。
- 現在の駅前の敷地を拡張し、外周部への歩道整備や区画線による車両の通行部分の明示を行うことにより、自動車・歩行者動線を明確にし、誰でも安心安全に利用出来る広場整備を行った。

#### 車両と歩行者が交錯



#### 歩車導線の明確化



### 【新桐生停車場線整備】

- 新桐生駅へのアクセス道路である新桐生停車場線は、桐生市内の高校へ通う学生が多く利用しているが、車道が狭く、両側に歩道がないため、歩行者と自転車にとって危険な状況となっていた。
- 両側歩道に加え、自転車通行帯を整備することで、自転車が安全に走行できる通行空間を確保した。

#### 歩道がなく、危険な状態



#### 歩道、自転車通行帯を整備



## 事業効果アピール資料

### 【照明のデザイン】

- 整備前の駅前広場は、広場周辺に光量の強い白色照明が連続的に配置されていて、光源のまぶしさが目立ち、周辺部が暗く感じ、空間の特徴が見えない等の問題があった。また、ファニチャーやシェルターなど人の集まる場所に光がなく、ひとの活動が見えない光環境になっていた。

シェルターにスポットライトを設置



- 整備後は、「安心安全なあかり・にぎわいのあるまちあかり・まちなかへと誘導するあかり」をコンセプトに、必要な照度を確保しつつ、歩行性能照明(平場、段差の認識)、誘導照明(曲がり角等の空間認識)、危険予測照明(車が事故を起こしにくくするための危険予知を促す照明)を整備し、駅前広場利用者の安心安全を確保する照明景観設計とした。
- 景観上の視認性を向上させるために、庭園灯(低い位置の照明)を歩道部、植栽・樹木部などに配置し、駅舎も含めて駅前インフラの特徴的な景観要素が夜間も目立つようにした。

歩行性能照明、危険予測照明



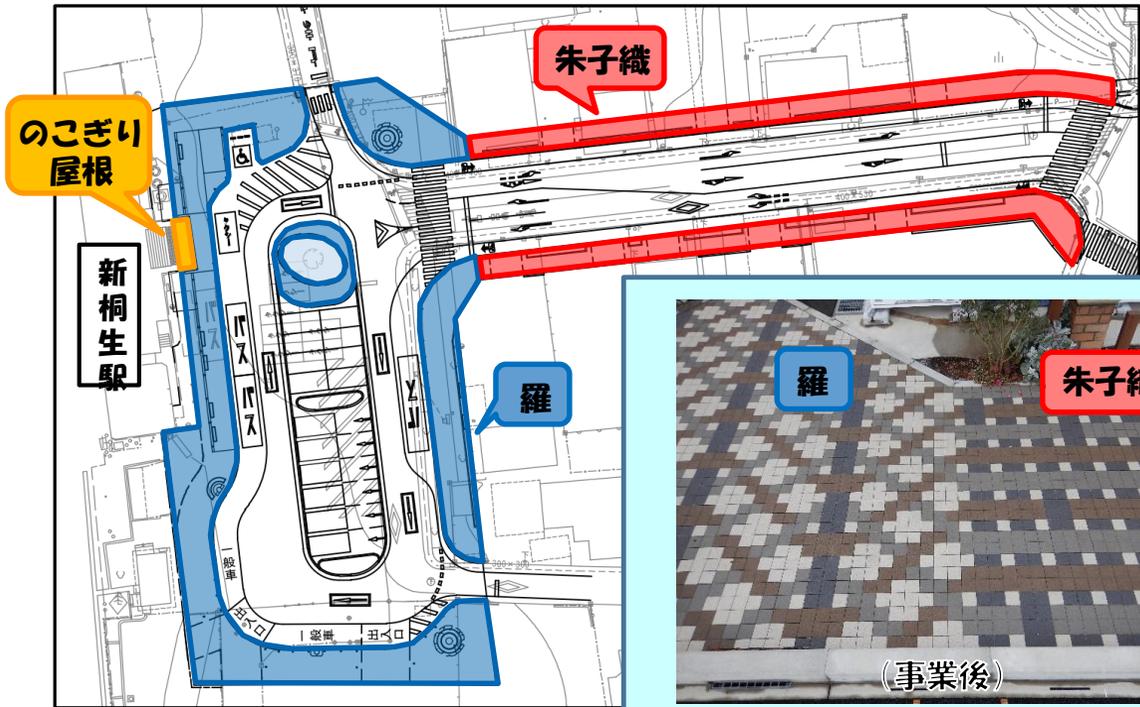
誘導照明



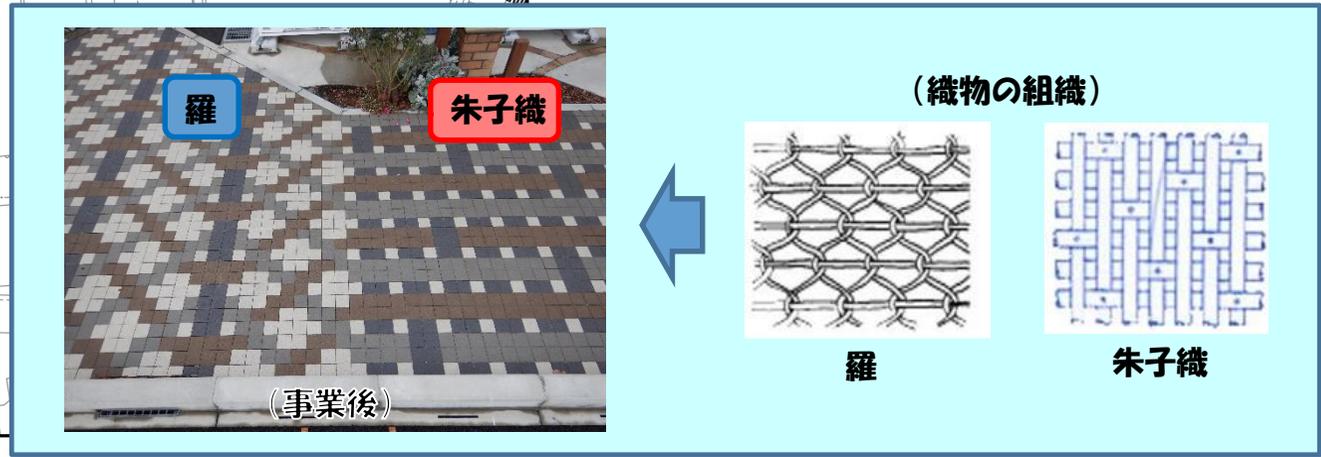
## 苦労や工夫等アピール資料

### 【舗装のデザイン】

- 桐生市は古くから織物産業が盛んな街である。今でも、昭和期に建てられたのこぎり屋根の工場が数多く残り、織物産業で栄えたことを今に伝えている。桐生市に残るのこぎり屋根の工場は、桐生市のマスコット「キノピー」にもその形状が採用されているように、桐生市の象徴といえる。そこで、駅の出入り口にはのこぎり屋根の工場をかたどった舗装を採用した。



- 主要産業である織物をイメージしたデザインとし、駅前広場には「羅」、アクセス道路には「朱子織」の図柄をモチーフとした。「羅」は、もじり織と呼ばれる薄いレース状の生地のことであり、「朱子織」は、織物の織り方の一種である。



## 苦労や工夫等アピール資料

### 【区割り施工】

- 新桐生駅を通常運行しながらの駅前広場整備であったため、路線バスや高校送迎バス、タクシー、一般車等が停車できるよう配慮して施工ステップを計画した。
- 施工区間により、バスやタクシー等の乗降場所が変わるため、駅入り口やアクセス道路に施工ステップを掲示し、乗降場所はわかりやすく看板を設置した。
- 駅利用者の安全を確保するため、随時歩行者通路を設置した。

乗降場所の看板



(工事中)

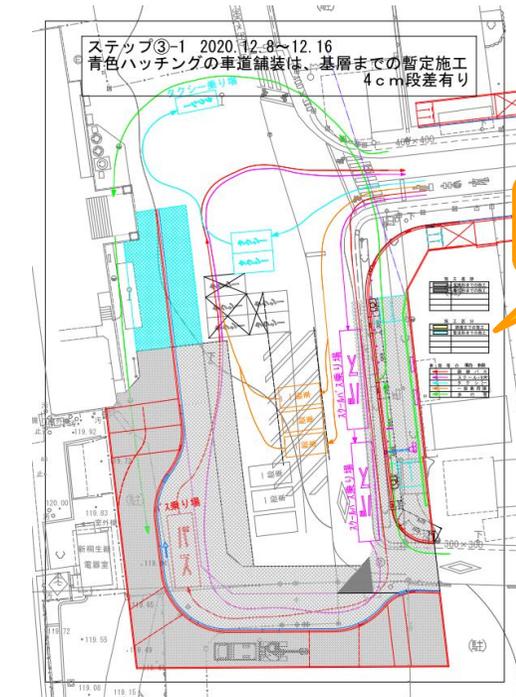
歩行者通路の確保



(工事中)

### 【植栽ワークショップ】

- 植栽については、ワークショップを行い、地元の皆さんの意見を伺いながら計画した。「維持管理が容易となるような樹種を選定してほしい」という意見があったことから、ロータリーの真ん中には、常緑樹のキンモクセイを配置した。歩道内のサークルベンチにはエゴノキを配置し、春には白い花を咲かせ、夏場はベンチの上で日よけとなり、秋から初冬にかけては紅葉により季節を感じられる植栽とした。



施工ステップの掲示



(ワークショップの様子)

受賞歴・報道資料

**TV報道、受賞歴 等  
特になし**